

平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 ヤマト・インダストリー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉浦 大助
 (J A S D A Q ・ コード 7886)
 問合せ先責任者 取締役管理本部統括 茂木 久男
 (T E L 03-3834-3111)

営業外費用・特別損失の発生ならびに業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 15 日に公表した平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の連結業績予想における予想値と比較して、本日公表の決算において下記の通り差異が生じるとともに、営業外費用及び特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想値と実績値との差異(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)
 (単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回予想 (A)	15,000	150	100	60	円 銭 5.97
今回修正 (B)	14,953	387	214	71	7.15
増減額 (B-A)	△46	237	114	11	—
増減率 (%)	△0.3	158.0	114.0	18.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	15,892	232	190	77	7.71

差異が生じた理由

国内外で主力のOA機器部品の受注が低迷しましたが、自動車部品、アミューズメントが好調に推移したことにより、売上高は若干下回りましたが、原価低減や経費削減に取り組み、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回ることになりました。

2. 営業外費用 (為替差損) の計上について

主に海外子会社間 (香港、シンセン) の取引消去による、現地通貨 (香港ドル、中国元) の取引発生時為替レートと決算時為替レートによる為替の差額が発生し為替差損 151,587 千円を計上することになりました。

3. 特別損失の計上について

当連結会計年度に、当社グループの経営戦略の一つである海外拠点の再構築の中において、フィリピンの事業会社 BIG PHILIPPINES CORPORATION の株式取得 (子会社化) を行ったことに伴う費用「事業構造改善費用」等を 78,063 千円計上することになりました。

個別財務諸表において、保有する関係会社株式が、簿価に比べ実質価額が著しく下落している為関係会社株式評価損 121,718 千円を計上することになりました。

以上